

阪急電鉄・阪神電車：SDGsトレイン『未来のゆめ・まち号』について

1. 名称

SDGsトレイン『未来のゆめ・まち号』

※グループの社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」について

グループの重要な事業基盤である沿線の「まち」の魅力を高め、未来の地域社会を担う次世代の「ゆめ」を育てることにより、「未来にわたり住みたいまち」をつくることを目指して取り組んでいる、グループの社会貢献活動です。100年以上の長きにわたり、阪急阪神沿線を中心とした地域社会に生まれ、信頼関係を築いてきた阪急阪神ホールディングスグループが、これからの100年もこの地域社会の一員として歩いていくために、2009年4月より活動を開始しました。グループ各社・沿線の市民団体・従業員と協働して、年間100件を超える活動を行っています。

2. 運行車両

最新の省エネ車両を使用するとともに、関西電力の「再エネECOプラン」(※1)を活用することにより、実質的に再生可能エネルギー100%で同トレインを運行します。

(※1) 関西電力が日本卸電力取引所より調達した、太陽光・水力・風力発電などに由来する環境価値を付加した電気を使用するプランのことです。このプランを利用することにより、実質的に再生可能エネルギーによる電力として取り扱うことができます。

<阪急電鉄> 神戸線・宝塚線1000系、京都線1300系車両 各1編成(8両編成)

※1000系・1300系車両は、高効率のVVVFインバータ制御装置、モーターのほか、前照灯を含むすべての照明機器にLED照明を採用。従来型(5000系、6000系などの電力回生ブレーキ非搭載車)よりも約50%、前形式(9000系)と比べても約20%の消費電力削減を実現するとともに、低騒音の全閉式モーターや駆動装置、側窓にUVカット複層ガラスを採用することにより、車内外の騒音を低減させています。

<阪神電車> 阪神1000系車両 1編成(6両編成)

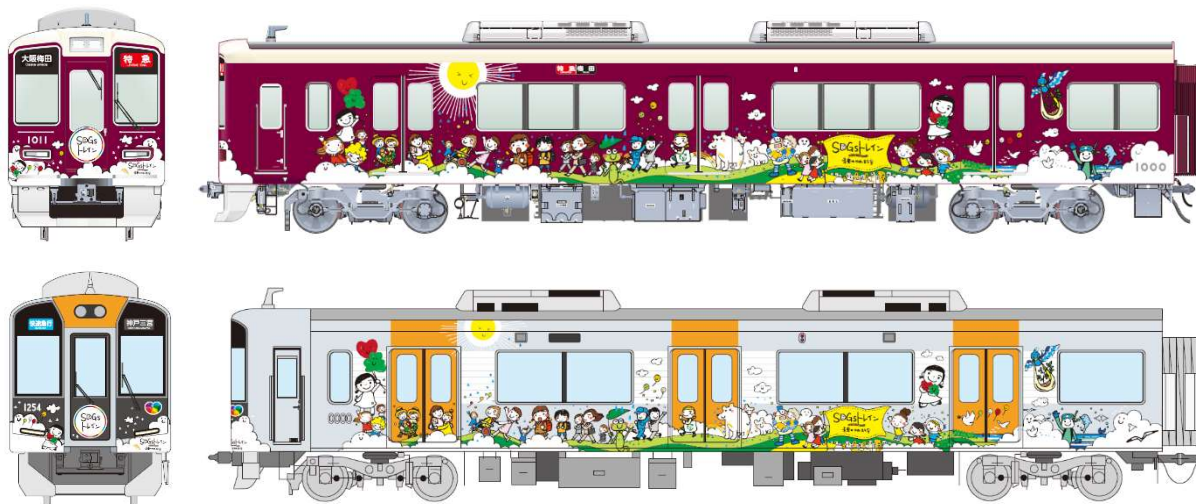
※1000系車両は、高効率のVVVFインバータ制御装置、ブレーキ装置には停止直前まで電力回生ブレーキが作用する純電気ブレーキを採用。照明機器、行先・種別表示器、車内案内表示器をすべてLED化するとともに、車体をステンレス製として軽量化を図り、また外板を無塗装とすることで環境に配慮しています。

3. 車両のデザイン・特徴

●先頭・最後尾車両(上：阪急電鉄 下：阪神電車)

SDGsの目標をイメージするさまざまな人や生き物たちが、より良い地域・社会を願いながら、未来へ向かってパレードをしていく様子を、「ゆめ・まちプロジェクト」のシンボルマークを描くウマカケバクミコ氏(※2)のイラストでデザインしました。SDGsの17の目標を親しみやすく表現しています。

(※2) 大阪府出身のイラストレーター。キャラクター・広告・出版・Webなどのイラストを幅広く制作。ゆめ・まちプロジェクトの立ち上げ時から、シンボルマークをはじめイラスト全般を担当いただいています。



●中間車両

側面の各ドアの横に、SDGsの全体ロゴおよび1～17の目標のステッカー（計18種）と再生可能エネルギー100%で運行していることを示すステッカーを掲出します。



●車両内

つり革に、SDGsが掲げる各目標の解説をするステッカーを掲出します。

表面

裏面



阪急阪神ホールディングスグループのSDGsに関する取組活動例

<p>◆阪急西宮ガーデンズにおける環境施策 (阪急電鉄)</p>	
<p>スカイガーデンなどの屋上緑化や壁面緑化を積極的に採用し、ヒートアイランド現象の軽減に努めています。また、太陽光発電パネルや風力発電機の設置、雨水の散水への利用など、自然エネルギーの活用も図っています。このほか、高効率ターボ冷凍機・氷蓄熱システム・ガスコージェネレーションシステムの採用、LED照明の採用や自然光を取り入れる設計等により省エネルギー化を図っています。</p>	
<p>◆阪神甲子園球場の太陽光発電 (阪神電気鉄道)</p>	
<p>阪神甲子園球場では、内野席全体を覆う屋根「銀傘」上に太陽光発電設備を設置し、2010年3月から稼働しています。推定年間発電電力量は約193,000kWhで、これは阪神タイガースが甲子園球場で行うナイトゲーム（年間）で使用するナイター照明の電力量に相当し、火力発電に比べて、CO2排出量を年間で約150トン削減することが可能です。</p>	
<p>◆1000000人のキャンドルナイト@OSAKA CITY (阪神電気鉄道、阪急電鉄)</p>	
<p>ビルの照明やネオンを消灯し、まちにキャンドルの明かりを灯すイベントを地域企業と協力して西梅田・茶屋町でそれぞれ開催。環境や普段の暮らしを見つめ直すきっかけとなることを目指しています。</p>	
<p>◆阪急阪神 ゆめ・まちチャレンジ隊 (阪急阪神ホールディングスグループ各社)</p>	
<p>都市交通・ホテル・エンタテインメント等、グループのさまざまな仕事や施設でのチャレンジを体験できる、小学生向けの学習プログラムを毎年夏休みに開催。まちの未来を担う子ども達の健やかな成長を応援します。</p>	
<p>◆「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」や 「阪急阪神 ゆめ・まちソーシャルラボ」による市民団体との協働 (阪急阪神ホールディングス、「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の助成先市民団体)</p>	
<p>グループ従業員の募金をもとに、会社が同額を上乗せして、阪急阪神沿線の市民団体を助成しています。また、「阪急阪神 ゆめ・まちソーシャルラボ」では、阪急西宮ガーデンズ内の「スタジモにしのみや」や駅を中心に、お客様参加型のワークショップや展示等のイベントを開催。地域のみなさまと共に、より良いまちづくりへの機運を高めています。</p>	

以上